

象徴としての光

- 太陽信仰、光信仰
 - エジプト、日本...
 - 光と闇の二元論
- 光の形而上学
 - プラトン、パルメニデス
 - 光を人間の認識作用、真理、美と類比的に捉える
 - 新プラトン主義
 - 真なる存在が明るいものであり、万物がそこから発生し、また人々はその光に照らされて真なる存在へと還帰する
 - アウグスティヌス
 - キリスト教的プラトン主義
 - キリスト教的神秘主義
 - 絶対者を、その絶対性のままに人間が自己の内面で直接に体験しようとする立場

光の表現

- 象徴としての表現
- 内面を表すものとしての表現
- 光の様子そのものの表現
- 屋外の鮮やかな光の表現
- 抽象的な光に対する感覚
- 光を発する表現

光の物理と知覚、文化

光の物理的表現

光の知覚現象

ニュートンの光学

ゲーテの色彩論

ヤング・ヘルムホルツの

ヘーリングの反対色説

三原色説

測光量の定義

輝度(色度)分布

光と文化